

# 平成29年度教員研究活動報告書



栗屋 仁美 教授（経営戦略・CSR）

公表された著書・論文等

【論文】

平成29年6月 「自動車解体事業の海外戦略に関する一考察」『研究論集』第91号, 敬愛大学経済学会, pp.3-24.

平成30年1月 「再生の経営—資源循環と市場創造—」『研究論集』第92号, 敬愛大学経済学会, pp.85-100.

【書籍】

平成30年3月 敬愛大学叢書『再生の経営学—自動車静脈産業の資源循環と市場の創造』白桃書房

学会等での活動

【学会報告】

平成29年9月 「逆有償による静脈市場の付加価値創造—セメント事業者の自動車再資源化を事例に—」第27回経営行動研究学会

【学会 コメンテータ】

平成29年10月 日本マネジメント学会（於広島経済大学）  
自由論題「小売業における環境配慮行動」のコメントータ

【シンポジウム 講演】

平成29年7月 「戦略論からのアプローチ『再資源化の経済』の提案」主催 MIRU, イベント「IRRSG 2017年第2回例会 自動車リサイクルサミットⅢ」於 NEC芝倶楽部

平成30年1月 「静脈のマネジメント—市場創造、資源循環」主催一般社団法人 サステナビリティ技術設計機構, イベント「広域マルチバリュー循環をめざして II—循環・ネットワーク型の経済と経営の方向性—」於 東京大学

その他の著作・公表物

【執筆】

平成29年4月 「賢明なる投資家とは—経済性と社会性の両立にエールを送

る投資家のイキ』『Japanese Investor No.93』宝印刷  
平成29年6月「企業理念と経営行動 心・技・体のバランス化」『人間会議  
2017年夏号』pp.58-63.

学外からの研究助成

科学研究費助成事業 基盤研究 (C)「自動車リサイクルビジネスにおける  
戦略性の検討」研究期間：2015年4月-2018年3月 代表者  
平成29年度一般財団法人島原科学振興会 研究助成金「製薬会社の再資源  
化活動」2017年11月-2018年12月 代表者

---

飯野 由美子 教授 (金融・各国経済事情)

公表された著書・論文等

平成30年1月「2010年代ドイツFinTechの現状と金融市場の構造変化にお  
けるその位置づけ—ヨーロッパ経済の技術革新への対応—」  
『研究論集』第92号, 敬愛大学経済学会, pp.111-162.

その他の著作・公表物

随筆「ドイツ・ボーフム大学の思い出」『ECHO』DAAD友の会

---

金子 林太郎 教授 (財政学・地方財政論・環境問題)

公表された著書・論文等

平成29年4月「産業廃棄物税の政策手段としての評価の現状と課題 (特集  
産業廃棄物行政の制度的課題)」『都市問題』後藤・安田記念東  
京都市研究所, 第108巻第4号, pp.69-80.

平成29年9月「産業廃棄物税の政策手段としての現状と課題：政策手段と  
しての評価手法の確立を (INDUST特集 地方産廃行政のいま)」『Indust』全国産業廃棄物連合会, 第32巻第9号, pp.13  
-19.

平成30年2月「地方環境税をめぐる現状と諸課題」『地方財政の四半世紀を問い直す（日本地方財政学会研究叢書第25号）』日本地方財政学会, pp.19-27.

学会等での活動

平成29年5月 シンポジウム「地方環境税をめぐる現状と諸課題」パネリスト, 日本地方財政学会, 和光大学

平成29年11月 シンポジウム「インバウンド観光振興による地域創生と人材育成」ゲストコメント, 敬愛大学総合地域研究所, 敬愛大学

その他の著作・公表物

平成29年5月「千葉市政検証・下 財政再建道のり険しく」『読売新聞』でのコメント

---

小山 幸伸 教授（日本経済史・日本史）

その他の著作・公表物

平成30年1月「「遊び」を取り入れた日本史授業」『研究論集』第92号, 敬愛大学経済学会, pp.163-215.

---

高木 朋代 教授（人的資源管理）

公表された著書・論文等

平成29年7月「高年齢者のさらなる雇用推進のための思考と実践：『すりかえ合意』による労働力均衡」『労働調査』2017年7月号, pp.4-10.

平成29年10月「人口減少下における高年齢従業員の雇用と就業」『日本労働社会学会年報』第28号, pp.60-82.

#### 学会等での活動

- 平成29年6月 組織学会（於 滋賀大学）  
※セッション司会
- 平成29年7月 日本労務学会（於 専修大学）  
※セッション司会，コメンテーター
- 平成29年7月 総務省「人材育成等専門家派遣事業」（於 香川県庁）  
講演課題「再任用職員の本格活用に向けた課題と対策」  
※地方公務員の人事問題に関する助言と講演
- 平成29年11月 総務省「人材育成等専門家派遣事業」（於 新潟県庁）  
講演課題「再任用職員の本格活用に向けた課題と対策」  
※地方公務員の人事問題に関する助言と講演

#### 学外からの研究助成

科学研究費補助金 基盤研究（A）平成29年度～33年度 代表

---

### 成松 恭平 教授（管理会計）

#### 公表された著書・論文等

- 平成30年1月 「顧客別収益性分析とマーケティング・コスト」『研究論集』  
第92号，敬愛大学経済学会，pp.217-247.
- 平成30年2月 「第4章 予算編成に関する分析」（分担執筆），企業予算制度  
研究会編『日本企業の予算管理の実態』中央経済社，pp.65-  
87.
- 

### 根本 敏則 教授（交通経済学、ロジスティクス）

#### 公表された著書・論文等

##### 【著書】

- 平成29年5月 根本敏則，今西芳一編著「道路課金・交通マネジメント～維  
持更新時代の戦略的イノベーション」成山堂書店

平成29年6月 後藤孝夫, 根本敏則「第14章 高速道路事業」, 『自由化時代のネットワーク産業と社会資本』塩見英治監修, 鳥居昭夫, 岡田啓, 小熊仁編著, 八千代出版

【論文】

- 平成29年5月 Itsuro OOTAKI, Yoshikazu IMANISHI, Kosuke MIYATAKE, Toshinori NEMOTO and Naohiro UCHIYAMA 「Effects of the change of toll system on social surplus: A case study of distance-based toll in Tokyo Metropolitan Expressway」, World Conference on Transport Research, 25C, pp.2927-2937.
- 平成29年6月 加藤博敏, 相浦宜徳, 根本敏則「長距離貨物輸送の物流労働生産性指標の提案と生産性向上に向けた考察」日本物流学会誌 25, pp.79-86.
- 平成29年6月 林克彦, 根本敏則, 齊藤実, 宮武宏輔, 丸山貴之「インド南部進出日系自動車メーカーにおける部品ロジスティクスの展開」日本物流学会誌 25, pp.125-132.
- 平成29年9月 根本敏則「流通イノベーションが求めるロジスティクス高度化」都市計画 66-5, pp.14-17.
- 平成30年3月 脇嶋秀行, 松井竜太郎, 後藤孝夫, 根本敏則「損傷者負担を考慮した高速道路料金の検討」交通学研究 61, pp.149-156.
- 平成30年3月 大瀧逸朗, 今西芳一, 内山直浩, 根本敏則, 宮武宏輔「首都高における混雑課金導入及び将来交通量変動による余剰への影響分析」交通学研究 61, pp.53-60.

学会等での活動

- 平成29年8月 パネル討論「サービス産業の生産性革命をどう実現するか」日本成長フォーラム, ANAインターコンチネンタルホテル東京(東京都港区)
- 平成29年9月 加藤博敏, 根本敏則「12フィート級コンテナを利用した海陸複合一貫輸送による小ロット貨物輸送の労働生産性向上の可能性」, 第34回日本物流学会全国大会, 東京経済大学(東京都国分寺市)
- 平成29年9月 宮武宏輔, 根本敏則, 林克彦, 石原伸志「中国向け越境ネッ

- ト通販物流における国際宅配便の役割に関する研究」第34回  
日本物流学会全国大会，東京経済大学（東京都国分寺市）
- 平成29年9月 「流通イノベーションが求めるロジスティクス高度化」UR都  
市機構，平成29年度都市施設整備業務研修（招待講演），UR  
都市機構（神奈川県横浜市）
- 平成29年10月 大瀧逸朗，今西芳一，根本敏則，宮武宏輔「首都高における  
混雑課金導入及び将来交通需要変動による余剰への影響分析」  
第76回日本交通学会 研究報告会，和歌山大学（和歌山県和歌  
山市）
- 平成29年10月 Takao GOTO, Hideyuki WAKISHIMA, Toshinori NEMOTO  
「Heavy vehicle toll management aimed at reducing life  
cycle cost with ITS technology」ITS World Congress 2017  
Palais des congres de Montreal (CANADA)
- 平成29年10月 Toshinori NEMOTO 「Evaluating Pricing Policy of Tokyo  
Metropolitan Expressway」ITS World Congress 2017 Palais  
des congres de Montreal (CANADA)

#### その他の著作・公表物

- 平成29年度日本交通政策研究会 研究プロジェクト「道路課金による大型  
車交通マネジメントに関する研究」報告書
- 平成29年度日本交通政策研究会 研究プロジェクト「宅配便事業における  
生産性向上のための評価指標と施策に関する研究」報告書
- 「ASEANにおける日系自動車企業のロジスティクスと物流体制に関する研  
究」調査報告書

#### 学外からの研究助成

- 道路課金による大型車交通マネジメントに関する研究  
（研究代表者）日本交通政策研究会 2017年度
- アジアにおける日系自動車企業のロジスティクスと物流体制に関する研究  
（研究分担者）科学研究費補助金 2016-2018年度
- 首都圏高速道路における料金体系の評価  
（研究代表者）科学研究費補助金 2016-2018年度



アジア向け越境ネット通販プラットフォームにおける航空物流の役割に関する研究（共同研究者）（一財）関西空港調査会 2017年度調査研究助成事業

---

馬場 正弘 教授（経済政策、産業政策、日本経済論）

公表された著書・論文等

平成30年1月「デフレ経済下における家計のインフレ期待—調整速度の変化に関する考察—」『研究論集』第92号, 敬愛大学経済学会, pp.301-330.

学会等での活動

平成29年5月 澁谷遊野（東京大学）「大規模災害が中古車価格に与える影響に関する研究」（一般論題報告）への予定討論者, 第74回（2017年度）日本経済政策学会全国大会（於亜細亜大学）

その他の著作・公表物

【翻訳】

平成29年9月『不平等—誰もが知っておくべきこと』（共訳）ジェームズ・ガルブレイス著, 塚原康博他訳, 明石書店（第1章, 第2章, 第4章, 第11章担当）（原著はJames K. Galbraith, *Inequality: What Everyone Needs to Know*, Oxford University Press, 2014）

---

藤井 輝男 教授（感覚知覚心理学）

公表された著書・論文等

平成30年1月「知覚の発達—Ponzo錯視現象の年齢に伴う変化—」『研究論集』第92号, 敬愛大学経済学会, pp.101-109.（共著者：吉田朋子・田中未央）

## 森島 隆晴 教授（教育経済学）

### 学会等での活動

平成29年12月「経済学の視点で見た夫婦関係」日本学際会議家庭部会 学士会館

---

## 矢口 和宏 教授（公共経済学）

### 公表された著書・論文等

平成30年1月「子供施策の供給主体に関する検討とコミュニティの意義」『公共選択』第69号, pp.60-75.

### 学会等での活動

平成29年11月 Huillin Wang “Formation of capability approach considering individual utilization ability” の討論者 (discussant) 日本経済政策学会 第16回国際会議（沖縄自治会館）

平成30年3月 シンポジウム「復興政策・復興事業の効果と検証—被災地の人・モノ・カネづくりは—」第98回公共選択学会研究会の報告者（関西学院大学 東京丸の内キャンパス）

### その他の著作・公表物

矢口和宏・坂本直樹編著『経済学概論』（みらい）の増刷（平成28年4月第1刷発行）

---

## 藪内 正樹 教授・研究所長

（中国経済／ビジネス、医療と健康の経済、地域企業経営）

### 学会等での活動

平成30年2月 日本日中関係学会, 新春講演会（宮本会長・元中国大使）

その他の著作・公表物

【報告書】

平成30年3月「医療と地域社会・産業界・行政の連携による街づくりの可能性と課題に関する研究」（敬愛大学総合地域研究所共同研究補助金により実施『紀要第8号』

【随筆】

平成29年6月「その時、私は北京市民だった」（天安門事件の記憶、中国人ゼミ生、知人に配布）

---

和田 良子 教授（実験経済学）

学会等での活動

平成29年12月 The Review of Socio-Economic Perspectives, Volume 2 Issue 2 December 2017, Does Happiness Affect Attitude Towards Ambiguity?: An Experimental Approach to Distinguish Between Subjective Prior and Act under Ambiguity-, pp.160-193.  
DOI: <https://doi.org/10.19275/RSEP014>

かんぽ財団 平成28年度研究助成 調査研究報告書「リスク選好および利他主義が保険選択に与える影響—実験による検証—」

学会等での活動

平成29年6月「幸福感はあいまいな情報下の主観的確率分布または選択に影響するか？」行動ファイナンス学会 於 千葉工科大学

平成29年6月 Does happiness affect attitude towards ambiguity?: An experimental approach to distinguish between subjective prior and act under ambiguity. At 4th RESP multidisciplinary Conference at Plaque : 招待講演 Key note speech

平成29年7月 The Classification of the Value Creation Model of Management as a Mechanism Design 5h International Conference on Serviceology, Vienna

- 平成29年10月 Can ambiguity aversion be a translatable parameter? 2017 North-American ESA Conference, at VCU, Richmond VA
- 平成29年10月 The effect of higher order risk preference on altruistic financial choice. 2017 Society of Experimental Finance American meeting
- 平成30年3月 「経営をサービスと捉えたクラス別価値創造モデルの醤油産業における事例研究 企業組織の違いがもたらすステークスホルダー間の「共創」の可能性の違い」第6回サービス学会国内大会 於 明治大学

#### 学外からの研究助成

- ゆうちょ財団「実験経済学による個人のポートフォリオ選択の決定要因分析—あいまいさ選好, リスク選好, 時間選好率および金融リテラシー—」60万円(税込み)原稿料, 研究代表(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 大塚崇夫と共同, 和田が代表)平成29年9月から30年8月まで

---

### 彌島 康朗 特任教授 (キャリア教育)

#### 学会等での活動

- 平成29年10月 「“気づき”を測り、意識強化を促すテキストマイニングの活用」日本キャリア教育学会 第39回研究大会, 日本キャリア教育学会, 上越教育大学
- 平成30年3月 「振り返りシートを分析し、教材化し、行動変容を目指したアクティブラーニングの実践報告—PDCA×3×テキストマイニング—」第24回大学教育研究フォーラム・京都大学高等教育研究開発推進センター, 京都大学吉田南総合館・百周年時計台記念館

## 高岡 英氣 准教授（スポーツ哲学・スポーツビジネス論）

### 学会等での活動

平成29年7月 「障害者スポーツに関する一考察：障害者雇用問題を手掛かりとして」日本体育学会体育哲学専門領域，神奈川県箱根町静雲荘

平成29年9月 「大学体育授業におけるアクティブ・ラーニングの心理・社会的効果」（共同報告者：水野哲也ほか）日本体育学会，静岡大学

### 学外からの研究助成

科学研究費補助金：基盤研究（A）「高齢・障害者の雇用政策・差別禁止法の効果研究：組織における人間行動の影響への着目」2017年度～2121年度，連携研究者

---

## 芳賀 理彦 准教授（文化翻訳論）

### 公表された著書・論文等

平成29年12月 「村上春樹『風の歌を聴け』及び『1973年のピンボール』の翻訳比較研究」『文明文化研究』創刊号，pp.1-23.

---

## 八木 直人 准教授（マクロ経済学）

### 公表された著書・論文等

平成30年3月 「ネットワーク中心性指標を用いた千葉県産業連関構造の分析」総合地域研究，敬愛大学地域経済研究所，8号

### 学会等での活動

平成29年11月 The 16th International Conference of the Japan Economic

Policy Association, 日本経済政策学会, 琉球大学 (Session 3: Monetary and Financial Policyの討論者として参加)  
平成30年2月 地域創生時代の産学官連携シンポジウム～教育の魅力化と地域づくり, 淑徳大学地域連携センター主催, JR千葉駅ペリエホール (パネリストとして参加)

---

## 遠藤 貴美子 専任講師 (経済地理学)

### 学会等での活動

日本地理学会 総務専門委員会 委員

地理空間学会 集会委員会 委員

平成29年4月 経済地理学会関東支部例会 座長 (麻生紘平「東京都城南地域外縁部の工業集積地形成と変容—神奈川県川崎市高津区下野毛地区を事例に一」) (於 明治大学駿河台キャンパス)

### 学外からの研究助成

科学研究費助成金 基盤研究 (C) (分担者)

研究題目: 地域経済社会の自立・安定に資するスモールビジネスの起業・成長を支える地域基盤

---

## 下斗米 秀之 専任講師 (アメリカ経済史)

### 公表された著書・論文等

平成29年12月 谷口明丈・下斗米秀之・西川純子・坂出健「谷口明丈・須藤功編著『現代アメリカ経済史—「問題大国の出現」』有斐閣 (2017年5月刊行) 合評会」『アメリカ経済史研究』アメリカ経済史学会, 第16号, pp.93-99.

平成30年1月 「アメリカ企業経営者の請願活動と1924年移民法成立——連邦議会および労働省宛て請願書の分析を中心に」『国際武器移転史』明治大学国際武器移転史研究所, 第5号, pp.127-

147頁，査読あり

#### 学会等での活動

平成29年6月「アメリカ移民制限政策の成立と企業・経営者団体——19世紀末から1920年代まで」第57回兵器産業・武器移転史フォーラム，明治大学，学会報告

平成29年9月「谷口明文・須藤功編著『現代アメリカ経済史』有斐閣（2017年5月刊行）合評会（書評報告）」アメリカ経済史学会，第60回全国大会，関西大学，学会報告

#### その他の著作・公表物

平成29年7月，平成29年10月，平成30年1月 連載コラム「アメリカ経済史に学ぶ」『Earnest』一般財団法人アーネスト育成財団活動報告書

#### 学外からの研究助成

「軍縮・軍備管理と武器移転・技術移転に関する総合的歴史研究」（私立大学戦略的研究基盤形成支援事業／研究クラスター 2015年-2019年）研究分担者

---

添田 利光 専任講師（金融論・銀行論）

#### 公表された著書・論文等

平成30年1月「日銀による非伝統的金融政策1（1999年～2006年）—「金融市場方針に関する公表文」と「記者会見」資料の検討を中心に」『研究論集』第92号，敬愛大学経済学会，pp.249-299.

---

前野 高章 専任講師（国際貿易論）

学会等での活動

平成29年5月 清酒製造業の海外市場創出と産業特殊要因に関する研究—  
ヒアリング調査による清酒製造業の国際化における現状と課  
題—, 経営行動研究学会 第27回全国大会, 創価大学

学外からの研究助成

科学研究費基盤研究 (B), 代替弾力性の変化を考慮した新たな貿易財分類  
に基づく日本・EUの非関税障壁の研究, 2016年度～2018年度,  
研究分担者

---

米田 紘康 専任講師（行動経済学・神経経済学）

その他の著作・公表物

千葉県経済農政局経済部観光MICE企画課「千葉湊大漁まつり～第41回千  
葉市民産業まつり～」経済効果試算

---